



新時代の 物理教育を探る

日時：2010年4月4日（日） 13:00～16:30

場所：東京大学 小柴ホール（東京都文京区本郷7-3-1）

「理科離れ」が社会問題となって久しく、その影響は大学の基礎物理教育にも及んでいます。かつてのような、学生の自主的な学習を前提とした講義が成り立ちにくくなっているのです。一方、科学技術立国を標榜する日本にとって、その基盤となる物理教育の重要性は、理学・工学の基礎教育としてはもちろんのこと、すべての国民の素養としても、今まで以上に高まっているといえるでしょう。本シンポジウムでは、一足先に物理教育改革のはじまった米国の例や、研究に基づく物理教育の構築方法、国内の先進的な改革例、物理教育のコース設計と質の保証について講演して頂き、その後、これからの物理教育のあり方全般について率直な意見交換を行いたいと思います。初等中等教育との接続についても議論したく、広く物理教育・理科教育に携わる方々の積極的な参加をお願い致します。

プログラム：（講演題目は若干の変更が行われる場合があります。）

| | | |
|-------------|------------------------------|------------------|
| 13:00～13:10 | はじめに | 村田 隆紀 |
| 13:10～13:40 | 米国の物理教育の動向 | 覧具 博義（JST） |
| 13:40～14:10 | 研究に基づく物理教育の改善と評価 | 笠 潤平（香川大学教育学部） |
| 14:10～14:40 | 専門課程教育を活かす物理導入基礎教育の実践 | 三沢 和彦（東京農工大学工学部） |
| 14:40～15:00 | - 休憩 - | |
| 15:00～15:30 | 物理コースの質の保証と認証評価 -JABEEの経験から- | 酒井 康弘（東邦大学理学部） |
| 15:30～16:30 | 総合討論 | |

参加方法：

参加費：無料

申込方法：①氏名、②職業、③連絡先住所、④電子メールまたは電話番号をご記入の上、下記の宛先までお申し込み下さい。

締 切：3月31日（水）

* 当日の参加申し込みも受け付けますが、参加者数等の把握のため、事前の申し込みをお願い致します。

* お預かりした個人情報にはシンポジウム運営にのみ使用します。

問い合わせ先：

日本物理学会 事務局 物理教育委員会係

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F

電子メール：kouza-at-jps.or.jp（-at-を@に置き換えて下さい）TEL：03-3434-2671 FAX：03-3432-0997

主催：日本物理学会 物理教育委員会 後援：日本物理教育学会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会